

新規事業採択時評価結果（平成19年度新規事業化箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：木村 昌司

事業の概要

事業名	一般国道150号 志太～榛南Ⅱバイパス	事業区分	一般国道	事業主体	静岡県
起終点	起点：静岡県 榛原郡 吉田町 住吉 終点：静岡県 牧之原市 細江	延長	1.2 km		
<p>事業概要</p> <p>一般国道150号は、静岡県静岡市を起点とし、同県浜松市に至る延長約131kmの幹線道路であるほか、県の中西部沿線地域の経済活動を支えるとともに地域間交流にも極めて重要な役割を担う路線である。また当路線は、第1次緊急輸送路及び国際物流基幹ネットワーク路線に指定されている。</p> <p>一般国道150号「志太～榛南Ⅱバイパス」は恒常的に発生している現道の渋滞を解消し、安全で円滑な交通確保を目的とした延長1.2kmの4車線道路である。</p> <p>事業の目的、必要性</p> <p>一般国道150号「志太～榛南Ⅱバイパス」は、主要渋滞ポイントに位置付けられている『宗高交差点』『富士見橋東交差点』『大幡川橋交差点』等、一般国道150号の大井川町、吉田町周辺の慢性的な渋滞を解消するとともに、騒音や大気汚染等の沿道環境の改善、志太榛南地域の物流機能の強化に大きく寄与するものである。</p>					
全体事業費	30.0億円	計画交通量	16,000台/日		
<p>事業概要図</p>					

関係する地方公共団体等の意見

当バイパスは、志太～榛南地域の発展に欠かすことのできない道路であり、「志太榛原地区国道150号バイパス建設促進期成同盟会」（焼津市、大井川町、牧之原市、御前崎市、吉田町）より整備促進要望（平成18年8月）を受けている。

事業採択の前提条件

費用対便益：便益が費用を上回っている
手続きの完了：都市計画決定済

事業評価結果

費用対便益	B/C	7.0	総費用：23億円 （事業費：22億円 維持管理費：1億円）	総便益：162億円 （走行時間削減便益：146億円 走行費用減少便益：13億円 交通事故減少便益：3億円）	基準年 平成18年
	感度分析の結果	交通量変動	B/C= - (交通量 - %)	B/C= - (交通量 - %)	
		事業費変動	B/C= - (事業費 - %)	B/C= - (事業費 - %)	
事業期間変動		B/C= - (事業期間 - %)	B/C= - (事業期間 - %)		
事業の影響	評価項目	評価	根拠		
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	◎	渋滞損失時間の高い区間の渋滞を解消する 【1kmあたり渋滞損失時間】 27.0万人時/年 km（志太郡大井川町相川） 【静岡県平均値：2.7万人時/年 km（約10.0倍）】 【静岡県管理道路上位2割値：7.1万人時/年 km（約3.8倍）】 【主要渋滞ポイント】 3箇所：大幡川橋交差点（最大渋滞長2200m）、 富士見橋東交差点（最大渋滞長2350m）、 宗高交差点（最大渋滞長970m）	
			事故対策	-	【死傷事故率】 173.6件/億台年（H14～H16平均）
	歩行空間	-	注目すべき影響はない		
	社会全体への影響	住民生活	○	交通の分散化に伴う騒音、大気汚染の改善	
地域経済		○	国際物流基幹ネットワークに指定されている現道の渋滞緩和		
災害		○	第1次緊急輸送路として指定されている現道の渋滞緩和		
環境		○	CO2排出量削減効果 2,443 t-CO2/年（現道：1938 t-CO2/年）		
地域社会	○	観光地（西駿河地域）へのアクセス向上			
事業実施環境	○	都市計画決定 昭和42年11月			

採択の理由

費用便益費が7.0と便益が費用を上回っていることから、都市計画手続きが完了していることから、事業採択の前提条件が確認できる。

一般国道150号の志太榛南地域は、主要渋滞ポイントである『宗高交差点』『富士見橋東交差点』『大幡川橋交差点』により慢性的に渋滞が発生しており、事業実施による安全で円滑な交通確保及び物流機能の強化の効果は高いと判断できる。

以上より、本事業を採択した。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。